



1の1NONOICHI コラボ商品「青春カレー/1の1校歌CD付」発売報告  
(左から、ラップユニット YOCO ORGAN 大谷内 真郷 氏、栗市長、  
チャンピオンカレー代表取締役社長 南 恵太 氏)

ごあいさつ

令和2年2月7日

例年になく雪が降らないまま立春となり、このまま春を迎えるのかと思いきや、空から白いたよりが舞い降りてきました。暦でいうところの「寒の内」が少しずれたのかと思うほどです。確かに油断は禁物、最近の気象状況は予測できないこともありますので、雪への備えには常に緊張感を持ってまいります。

1月以降、石川県内では交通死亡事故が相次ぎ、本市でも3件の死亡事故が発生しました。この状況を憂慮して、市では交通安全推進隊による赤ランプ作戦や、交通安全協会の皆さんによる巡回広報で安全運転を呼びかけています。土地区画整理事業による新たな道路の開通や、これまで交通量が少なかった生活道路に車が通るなど、交通状況の変化もあり、どれだけ注意をしているつもりでも事故が起きてしまう現実があります。

ちょっとした不注意や焦りも交通事故につながりますので、私自身も含めドライバーの皆さん一人ひとりが心にゆとりを持って運転されることをお願いいたします。

1月、2月は町内会やいろいろな団体から新年会や総会へお招きをいただき、市民の皆さんから直接お話を伺う機会があります。要望や困り事などの相談に加え、最近は、「一緒にこうしたらいいのではないか」「市としてこれに取り組んではどうか」といった、野々市の将来を見据えたまちづくりや課題への取り組み方についてのご提案も多くいただきます。

直にいただく「野々市をもっと良くしたい」という思いに勇気づけられるとともに、市制施行から蒔いてきた「市民協働のまちづくり」の種が芽吹き、確実に育っていることを感じます。さらに進んで、花が咲くことが楽しみです。

3月の上旬には、長崎県五島市で開催される「国際ツバキ会議」において、本市「愛と花のギャラリーのいち椿館」と「椿山」を含めた野々市中央公園の「国際優秀ツバキ園」の認定の可否が決定されます。1月21日に中国・昆明市を訪問し、国際ツバキ協会の菅会長とお会いすることができました。認定に向けた貴重なお話しもいただきましたし、本市の熱意も十分にお伝えすることができたと思っております。

3月21日・22日に開催する30回の節目を迎える「花と緑のいち椿まつり」に向け、まさしく「野々市の春」の朗報を皆さんにお届けできることを期待しております。